

ホルムアルデヒド放散等級区分

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

ROCK GENUINE

ロックジェニユイン

水性1液型超低汚染リアルハイブリッド無機系塗料



ROCK PAINT

樹脂設計、樹脂合成技術、顔料 至高の超高性能水性塗料で

『無機』による
超耐久性

『有機』による
フレキシブル性(柔軟性)

2つの長所を掛け合
ロック ジェニユ

分散技術を最高レベルで融合
大切な建物を長期間守り続けます

▶▶ W 効果

わせた最高位グレード
インが誕生しました

これまでの塗膜性能を 凌駕する至高品質

超高耐久
外壁

20年~25年[※]

有機×無機の超耐久樹脂

ラジカル制御技術

防藻・防カビ
技術

防藻・防カビ技術

菌糸が侵入しにくい
緻密な塗膜構造

フレキシブル性

緻密性

柔軟性

W効果

至高
品質

超美観維持性

セルフベリング機能

セルフクリーニング機能

※期待耐用年数は、次回塗り替え時期の目安としてであり、塗装する地域、立地条件、塗装面の方角によって異なります。

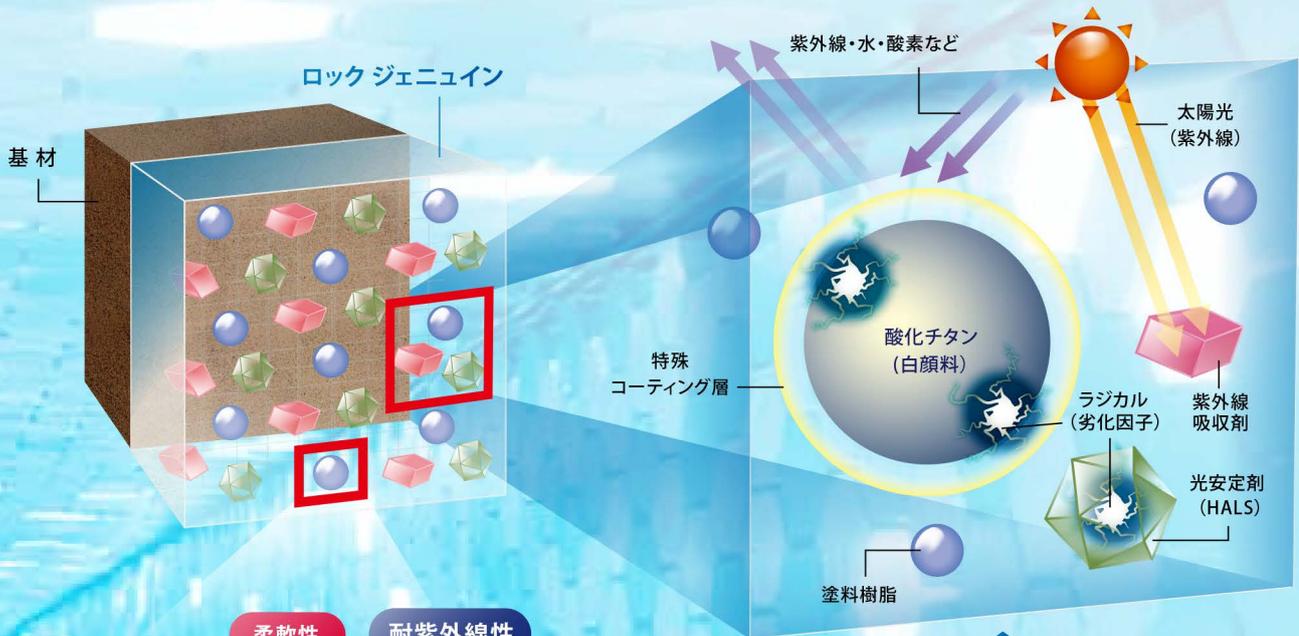
色彩が織りなす美観

建物の寿命を延ばす 超高耐候

「強靱で柔軟」な塗膜により超高性能を発揮します。

無機物の耐紫外線力×有機物の柔軟性を理想的に配合し、紫外線吸収剤とラジカル(劣化因子)の発生抑制技術により従来の塗料を凌ぐ超高耐候性を実現

無機/有機のハイブリッド樹脂×ラジカル制御技術

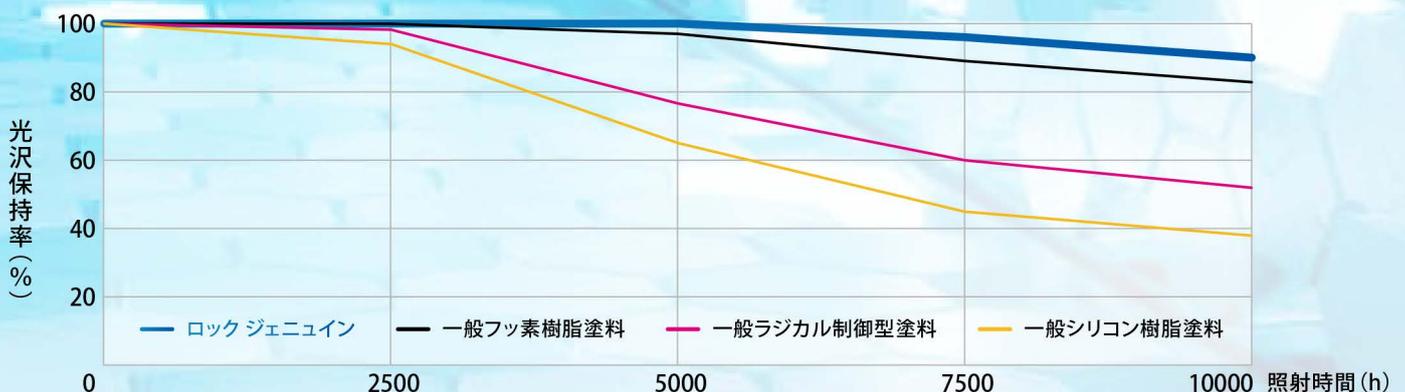


特殊コーティングチタン×光安定剤(HALS)によるラジカルコントロールにより、ラジカル劣化を抑制

当社独自のリアルハイブリッド技術



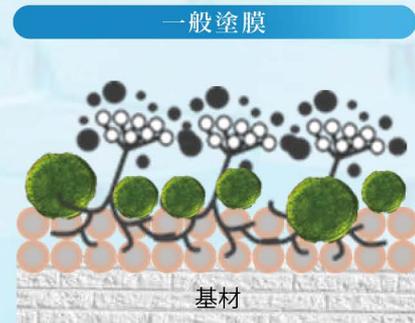
促進耐候性試験 (キセノンランプ法)



防藻・防カビ テクノロジー

『藻やカビが外壁に付着するメカニズム』

カビは孢子が付着した後に菌糸と呼ばれる糸状の組織を伸ばして増殖します。藻やカビは湿気を好み、近年の高温多湿の日本の環境で生育しやすくなっています。カビの菌糸や藻類は劣化した塗膜の微細なひび割れや凹凸、あるいは塗膜の隙間から内部へ深く入り込んでいきます。これにより根が張る状態となり、特に黒カビは成長と同時に色素を作り出し素材を染めてしまいます。この状態になると、表面を擦る程度では奥まで入り込んだ菌糸や色素まで除去することができず落としにくい頑固なカビとなります。発生した藻やカビは水分を保持しやすくなり、日陰で湿気の高い環境でより成長が早まります。これにより外壁の見た目だけではなく、劣化を促進させる要因にもなります。



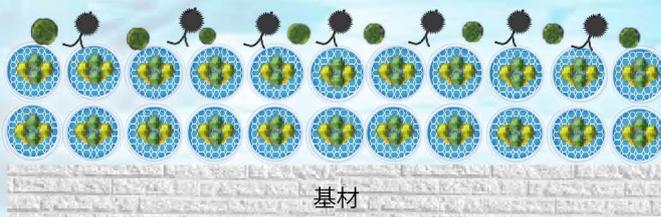
項目	藻	カビ
栄養源	基本的には光合成水、日光、空気中の二酸化炭素	有機物 ホコリや排気ガスに含まれる炭素、窒素、塗料の劣化した成分など (チョーキング成分など)
発生条件	水分と湿気。特に外壁の北面は日当たりが悪く、一度濡れると乾燥しにくいいため、藻やカビにとって最適な環境となります。	



ロックジェニユイン 防藻・防カビ効果発現のメカニズム

ロックジェニユインは緻密な塗膜構造のため黒カビや藻類そのものにも強く、さらに塗料との相性が良く効果に優れた薬剤を複数掛け合わせ、当社独自の包接化技術を用いた『ROOT PROOF COATING技術』により、緻密で低溶出な塗膜を形成。防藻・防カビのメカニズムを発現させることで、黒カビや藻類の付着を抑え、根が張りにくい状態を長期間維持します。また根が張らないように1年に1回程度、傷がつかないように洗浄道具を使用して水洗いなどを行うと、より効果的に綺麗な外壁面を維持します。
※高圧洗浄や硬いブラシなどで塗膜をこすると塗膜に傷が入り耐候性が損なわれることがあります。

緻密な塗膜構造
×
薬剤ベストミックス
×
超低溶出塗膜

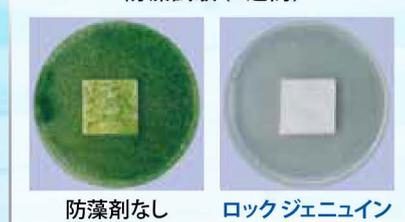


ロックジェニユイン防藻・防カビ試験

防カビ試験(2週間)



防藻試験(4週間)



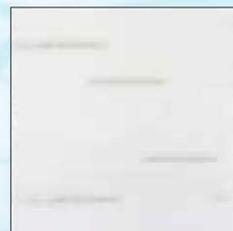
フレキシブル性(柔軟性)

無機成分と有機成分の良さを最大限引き出した塗膜は緻密で強靱であり柔軟性にも優れています
旧塗膜が弾性系の場合でも安心してご使用いただけます

摩耗性試験
(洗剤を使用したブラシ洗浄10,000回)



ロックジェニュイン

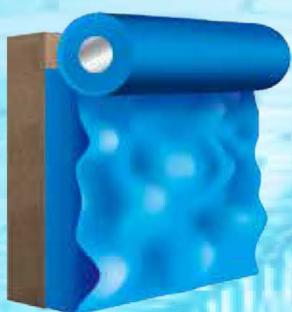


一般無機塗料

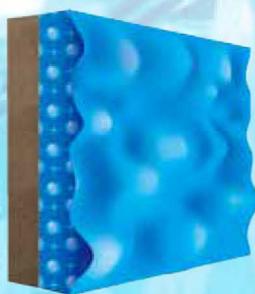
超美観維持性

セルフレベリング機能

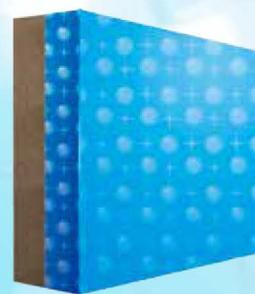
セルフレベリング機能により、均一な仕上がりを実現
超微粒化された樹脂により、従来には無い緻密な塗膜を形成します



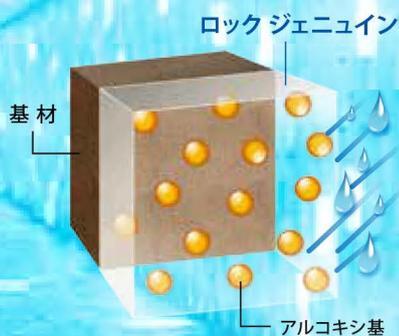
塗装直後



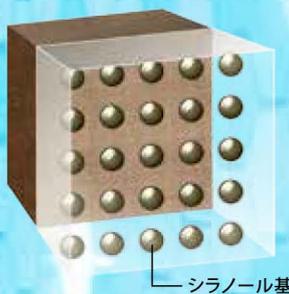
乾燥・塗膜形成中



超低汚染塗膜の完成



塗料中のアルコキシ基が空気中の水分と反応することで加水分解されシラノール基を生成



シラノール基が塗膜表層に緻密に配列される事により超低汚染性能が付与される



セルフクリーニング

無機/有機のハイブリッド樹脂×ラジカル制御技術



ロックジェニュイン

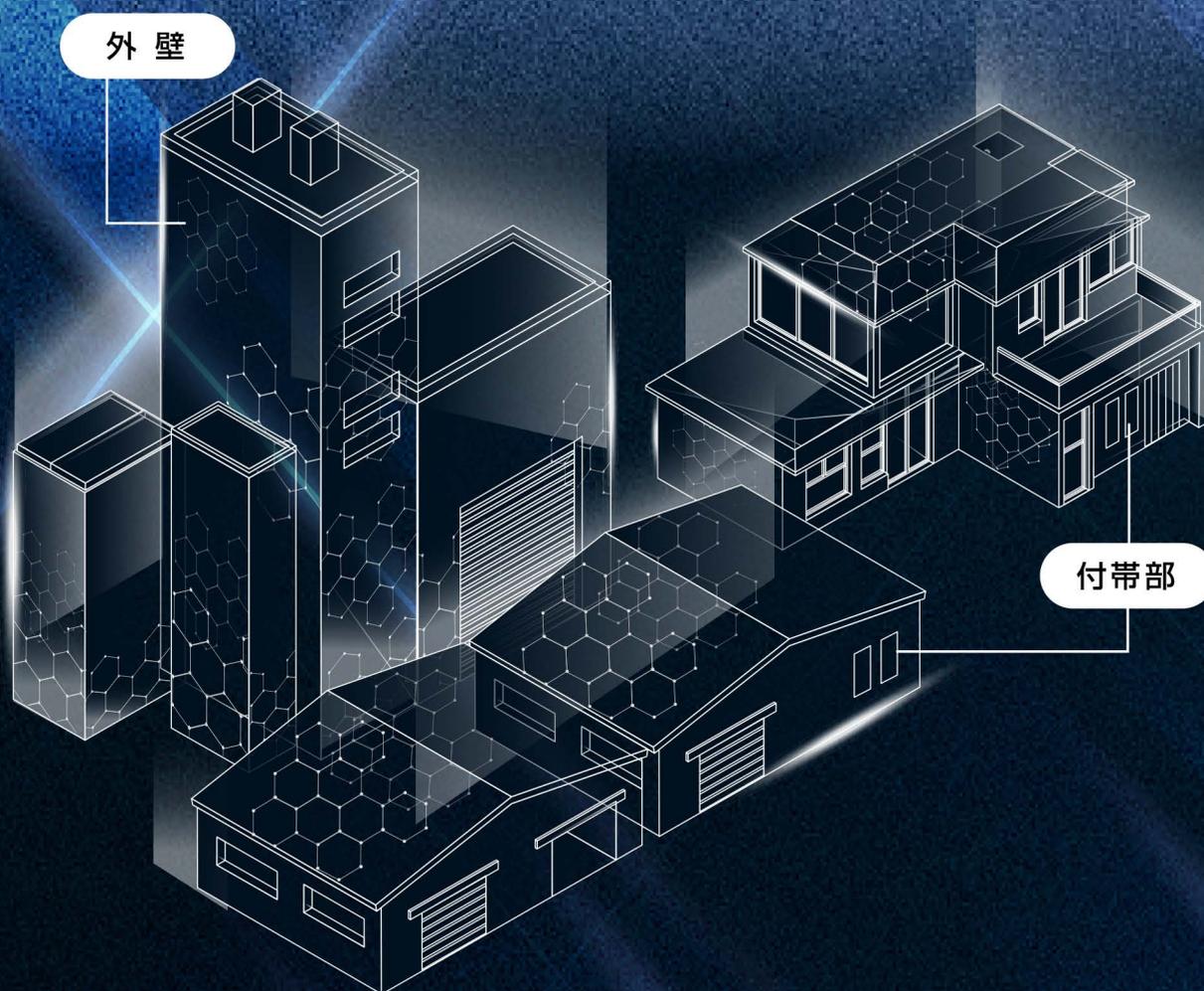
一般塗料

塗膜の表層に緻密な親水性塗膜を形成することで得られるセルフクリーニング効果で降雨時に汚れが洗い流されます

「汚さない技術」と

「落としやすい技術」

戸建住宅、集合住宅、工場等、 様々なシーンで建物を守る



適応下地

- 窯業系サイディング
- 金属サイディング
- コンクリート
- モルタル
- ALC
- 亜鉛メッキ
- アルミ
- 硬質塩ビ など

適応下塗り

- シーラー
- ハイパーシーラーアクア
- ロックカチオンシーラーマルチⅢ
- 下地調整材
- ロックSBフィラー
- ビニロックエラストティックフィラーⅢ
- 錆止め
- ハイプライマーアクア

【商品構成】

品番	商品名	容量
222-9000	ロックジェニユイン 調色品	15kg・3kg
222-9003	ロックジェニユイン 3分ツヤ 調色品	15kg・3kg
222-9005	ロックジェニユイン 5分ツヤ 調色品	15kg・3kg

【標準塗装仕様】

窯業系サイディングボードの塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量(kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間(23℃)
下地調整	旧塗膜のはがれ部分、ふくれ部分などは皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	032-2001 ロックSBファイラー	水	ハケ・ローラー：1～5 エアレス：1～5	1	0.2～0.4	3時間以上
上塗り	222ライン ロックジェニユイン 調色品	水	ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.12～0.18	2時間以上

コンクリート、モルタル面のシーラーを使用した塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量(kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間(23℃)
下地調整	旧塗膜のはがれ部分、ふくれ部分などは皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	033ライン ハイパーシーラーアーク 配合比(重量) 主剤:硬化剤=14:1	水	ハケ・ローラー：0 エアレス：0(通常不要)	1	0.08～0.13	4時間以上
上塗り	222ライン ロックジェニユイン 調色品	水	ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.12～0.18	2時間以上

※下塗りは他にロックカチオンシーラーマルチⅢが使用できます。

※ロックカチオンシーラーマルチⅢはカチオン型であり、他の水性塗料と混合するとゲル化しますので絶対に避けてください。また、ハケ・ローラーなどの塗装用具の共用も避けてください。

※素地の吸い込みが著しい場合、強アルカリ性が予想される場合にはハイプライマーアークを使用してください。

※吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。

コンクリート、モルタル面の可とう形改修塗材Eを使用した塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量(kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間(23℃)
下地調整	旧塗膜のはがれ部分、ふくれ部分などは皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	032-2106 ビニロックエラストックファイラーⅢ	水	ハケ・ローラー：5～10 エアレス：5～10 砂骨ローラー：1～5	1	0.3～0.5 0.8～1.5	4時間以上
上塗り	222ライン ロックジェニユイン 調色品	水	ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.12～0.18	2時間以上

一般鉄部、非鉄金属面^{注)}の塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量(kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間(23℃)
下地調整	旧塗膜のはがれ部分、ふくれ部分などはワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、さびなどは電動工具、手工具で削りかすとともに完全に除去する。チョーキングした面、汚れ等はサンドペーパー等で除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	061ライン ハイプライマーアーク 配合比(重量) 主剤:硬化剤=2:1	水	ハケ・ローラー：0～5 エアレス：5～10	1	0.14～0.16	4時間以上 7日以内
上塗り	222ライン ロックジェニユイン 調色品	水	ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.12～0.18	2時間以上

注)非鉄金属面では種類や目付量により適さない場合がありますので、最寄りの営業所へお問い合わせください。

※ハイプライマーアークには、グレーとホワイトがあります。

※下塗り塗装において、夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、余り日数を置かず速やかに次の工程を行ってください。もし長期間経過した場合はサンドペーパーまたはパワーブラシで表面を研磨後、脱脂等清浄な面としたうえで上塗り塗装をしてください。

硬質塩ビ^{注)}の塗り替え(雨どいなど平滑仕上げ)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量(kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間(23℃)
下地調整	旧塗膜のはがれ部分、ふくれ部分などは皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。塗装する面にサンドペーパーP240～P400で研磨による表面荒らしを行う。					
下塗り	222ライン ロックジェニユイン 調色品	水	ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	1	0.12～0.18	2時間以上
上塗り	222ライン ロックジェニユイン 調色品	水	ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	1	0.12～0.18	2時間以上

注)軟質塩ビには塗装できません。

◎仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって多少異なる場合があります。

さらなる時代へ

ロックペイントは、気候変動問題への対策が重要且つ喫緊の課題であると認識し、温室効果ガス排出量を削減する目標を掲げ、これが国際的環境組織「SBTi」から日本の塗料メーカーでは初となる認定を受けました。当社は、これからも地球環境を守るため、温室効果ガスの削減活動を推進し、サステナブルな社会の実現に貢献します。



[詳しくはこちら >](#)

施工上の注意事項

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、エフロレッセンス、レイタンス、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 塗料全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗り場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ・ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
- 作業能率の低下および塗りムラの原因になるため、スプレーノズルの先端は時々洗浄してください。
- ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- ハケ塗りとローラー塗りで仕上げが混在する場合、塗り肌が異なり、色相に差が出やすいので、ハケ塗り部分の希釈をやや少なめに塗装してください。
- つやの調整品は、被塗物の形状、状態、塗装膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し確認してください。また塗り継ぎや補修の際につやむらが出やすいため、面を切って通して塗装してください。
- 調色には必ずロックオンカララント7000(ホワイトはベースの10%以内、ウィークホワイトはベースの15%以内)を使用してください。
- さざ波模様など凹凸のある下地の場合、上塗りの隠ぺい性が十分発揮できず、塗装回数が増えたりする場合がありますので注意してください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮われなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがあります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離・はがれ・割れの低減が図れますが、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りをすることをお奨めします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックノンタックプライマーS」は塗装しないでください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 塗装面の取り合い等で可塑性が多く含まれる建材(塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなど)への直接の塗装は塗膜が軟化することがあり避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他の断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 笠木、天端など長時間水の滞留する箇所では塗膜の白化、ふくれなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 比較的緻密な素材である押出成形板やGRC板へ塗装する場合は、ハイパーシーラーアクアを下塗りとして使用してください。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増す打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えを行ってください。
- フッ素コート処理をはじめ無機系や光触媒処理のサイディングボードには、ハイパーシーラーアクアを下塗りに使用してください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 屋外セメント系素地に段差・巣穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。
- ビニロックエラストックフィラーⅢを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りをし、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにむらが生じないようにしてください。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- サビについては完全に除去後、削りカス(サビ、鉄くず)を完全に除去してください。サビの発生の原因となります。
- 亜鉛メッキへ塗装する場合、目付量により塗装に適さない場合がありますので、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がないので、金属製の部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、適性のあるサビ止め塗料で補修塗装を行ってから下塗り塗装してください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 塗色が濃色の場合、塗膜を強くすると色落ちすることがありますので注意してください。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落としてください。乾くと落ちにくくなります。
- 塗装後24時間以内に降雨、結露があった場合、白化やシミが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りをすることをお奨めします。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温23℃、湿度65%の場合)
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想できる場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 旧塗膜は弾性型塗料でビニロックエラストックフィラーⅢ、ロックSBフィラーを使用して塗替えを行う場合、後の工程で吹付タイル(硬質タイル)は使用しないでください。クラックが生じる場合がありますので弾性系の塗材を使用してください。
- 数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプです。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなることがありますので注意してください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠ぺい性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗りした後、上塗り塗装してください。
- 低汚染性については被塗物の種類や建物の形状により、また、施工後特に塗膜が十分に乾燥する前、もしくは乾燥して初期の段階で天候不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- 防藻・防カビ効果は繁殖を抑制するため、既に発生している被塗面には、下地処理として除去および防藻・防カビ処理剤などで殺菌処理した後、塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれカタログをご参照ください。
- 取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生及び取扱い上の注意事項

〔製品の危険・有害性〕

引火性など危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入らないようにしてください。

〔救急処置〕

- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは医師の診察を受けてください。

〔取扱注意事項〕

- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて、保護手袋、保護メガネ、保護マスクを着用してください。

- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行い、作業衣等に付着した汚れをよく洗い落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手が届かない場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。

〔施工後の安全性について〕

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
 - 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。
- ※詳細につきましては、製品個々の容器に記載のPL法関連事項と安全データシート(SDS)をご参照ください。

ロックペイント 株式会社

東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1650 FAX (06)6473-1000
札幌営業所 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304
仙台営業所 / 〒983-0044 / 仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号流正ビル201号室 ☎(022)349-8677 FAX (022)283-3255
西関東営業所 / 〒252-0131 / 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112
名古屋営業所 / 〒454-0059 / 名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433
岡山営業所 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966
福岡営業所 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

●本カタログの内容については、予告無しに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。



スマートフォン等で読み取っていただくと
ロックペイント(株)のHPをご覧いただけます。
<https://www.rockpaint.co.jp>

販売店：